

☆女兼ねれものに『光』を...

◎コンセプト

外来種や、本来の植生を妨げる等の有害植種に、少しでも光をあてて、何か活用できないかと、考えた。

◎利用法 おむいし組

今回は、竹とつる植物・南京はせについて考えた。
主に竹で灯明を、つる植物と、南京はせで土台を作り、
参道や森の中に置き、昼は道しるべのオーナメントとして、
夜は人の道を照らす光となる。

それぞれに、ソーラーパネルを設置し、暗くなれば、自動で
光る。また明るくは、ろうそくのやうな程度に可る

あるいは、参道では、人感センサー
もしくは、踏んだ時に光るセンサーを
設置すると、幻想的になると考える。

◎材料

- ・竹 ・ つる植物
- ・ 南京はせの種 ・ 豆電球

◎作り方

1. つる植物で、リースの土台を作る
2. リースの土台に南京はせの種をからめる。とろとろに豆電球をつける。
3. 竹で中心となる灯明部分を作る。イメージとしては『フクロウ』中にライト等をつけて、リースと組み合わせる。

※ 灯明と、リースを分けて使用してもよいと思う。

